

学習指導要領		都立六郷工科高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの生きる社会</p>	<p>現代社会における諸課題を扱う中で、社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などについて理解させるとともに、現代社会に対する関心を高め、いかに生きるかを主体的に考察することの大切さを自覚させる。</p>	<p>・「幸福、正義、公正」などの考え方が、現代社会の諸課題を考察するための基盤であることを理解する。実際にあった社会問題を事例に、自らはどのような理由で、どのような考えを持ったのかを認識する。</p>
<p>(2) 現代社会と人間としての在り方生き方</p> <p>ア 青年期と自己の形成</p> <p>生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>・青年期とは、社会とかかわりあう中で自己を形成し、心理的、社会的な自立を遂げていくなど、自己を確立する基礎を培う重要な時期であることを理解する。また、青年期の意義を心理的離乳やマージナル＝マンなどの言葉を用いて説明することができる。</p> <p>・青年期の大きな特徴であるアイデンティティの確立の意義を知る。また、自身の将来について考察し、自らがいままで生きてきた中で大切にしてきた価値観などを意識し、自らがよりよく生きる大切さを理解する。</p> <p>・青年期の自己形成を図る上で、社会との関わりや人との付き合いがアイデンティティの形成になっていく重要性を理解する。</p> <p>・我が国の伝統や文化が、私たちの日常生活の多様な場面において影響していることを理解し、現代社会における伝統や文化の継承の重要性について知る。また、新しい文化の創造が行われている現状にも視点をおき、把握する。</p>	

学習指導要領	都立六郷工科高校 学カスタンダード
<p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義                      基本的人権の保障、国民主権、平和主義と我が国の安全について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立など日本国憲法に定める政治の在り方について国民生活とのかかわりから認識を深めさせるとともに、民主政治における個人と国家について考察させ、政治参加の重要性と民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深めさせる。</p> <p>ウ 個人の尊重と法の支配                      個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割、司法制度の在り方について日本国憲法と関連させながら理解を深めさせるとともに、生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等などについて考察させ、他者と共に生きる倫理について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会契約説の基本的な考え方を知り、民主政治と国家の在り方について、個人と国家の関係を把握する。</li> <li>・日本国憲法の三大原則を把握し、その上で基本的人権には、自由権、社会権、平等権、自由権があることを理解する。</li> <li>・国民主権が民主政治の根幹であることを十分に認知し、我が国の国政選挙における、衆参両院や選挙選出方法の相違を把握し、選挙制度のしくみについて理解する。</li> <li>・我が国における平和主義の考え方について、日本国憲法前文や第9条を踏まえて理解する。</li> <li>・日本国憲法の条文を踏まえて、天皇が日本国憲法及び日本国民統合の象徴であることや天皇が行う国事行為について理解する。</li> <li>・日本の政治制度の基本的なしくみについて理解するとともに、議院内閣制をとっていることを、ほかの国の政治制度と比較していきながら理解する。</li> <li>・新聞やニュース、コラムなど通じて、現実の政治の動きについて関心を高め、自らの考えを持つことができる。</li> <li>・日本国憲法第13条の「個人の尊重」について理解し、個人の生命・自由及び幸福追求の権利は最大限尊重されなければならないことを知る。</li> <li>・法や規範が私たちの生活のあらゆる領域に関わっており、私たちの権利を守っていることを理解する。</li> <li>・司法制度の基本的な仕組み、三審制をとっている理由、裁判員制度が導入された経緯などを理解する。</li> </ul>

学習指導要領	都立六郷工科高校 学カスタンダード
<p>エ 現代の経済社会と経済活動の在り方</p> <p>現代の経済社会の変容などに触れながら、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融について理解を深めさせ、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせるとともに、個人や企業の経済活動における役割と責任について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命はかけがえのないものであることについて理解し、生命尊重の精神をあらゆる生活の中に生かしておくことが重要であることを知る。</li> <li>・人間は尊厳のもつかけがえのない人格として平等であり、ほかの人々の願いを自分の場合と同様に思いやり、尊重することが必要であることを理解する。</li> <li>・「経済」という言葉の源泉から経済活動を考え、現代社会の産業構造や人々のライフスタイルの変化に着目して理解することができる。</li> <li>・市場における価格は、アダム＝スミスの「見えざる手」である価格の自動調整機能によって需要と供給の関係が決定していくことを概括的に説明することができる。また、マルクス、ケインズ、フリードマンの考え方をたどって、経済政策の在り方を考察することができる。</li> <li>・財政とは、政府による経済活動であり、所得税や消費税といった租税を財源として成り立ち、社会保障費や地方交付税交付金などで歳出がまかなわれていることを理解した上で、日本が抱える借金に目をやりながら、今後の財政政策の在り方を考察することができる。</li> <li>・銀行の役割に着目し、金融機関が資金の融通を行うことで経済が循環していること、また日本銀行が経済政策に関わる働きを理解する。</li> <li>・戦後の我が国において実現された経済成長について理解し、一方で企業の活動が公害をもたらした背景を理解する。</li> </ul>

学習指導要領	都立六郷工科高校 学カスタンダード
<p>オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割</p> <p>グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献、経済における相互依存関係の深まり、地域的経済統合、南北問題など国際社会における貧困や格差について理解させ、国際平和、国際協力や国際協調を推進する上での国際的な組織の役割について認識させるとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本国憲法に規定された勤労の義務や労働基本権について理解するとともに、リーマンショック以降の派遣切り問題に着目して、現代の雇用・労働問題について理解する。</li> <li>・ 社会保障制度の意義や役割を理解し、特に年金保険が抱える少子高齢化に伴った課題を理解する。</li> <li>・ 個人や企業が経済活動を行う上で、法的責任や社会的責任を担っていることや、一人一人が環境保全や社会貢献に配慮した行動をとることが重要であることを理解する。</li> <li>・ 現代の「グローバル社会」とはどのような社会であるのか考え、人、商品、資本、情報などが国境を越えて、自由に移動し、貿易による国際間の相互依存度が深まる現代社会の特色を理解することができる。</li> <li>・ 人権・国家主権・領土に関する国際法上の規定や、国際平和に向けた各国の協調的な取り組みが重要であることを知る。特に、北方領土、竹島、尖閣諸島が我が国固有の領土であることを歴史の変遷から理解する。</li> <li>・ 国際社会における国際法の重要性について知るとともに、国際平和の実現や国際的な人権問題の解決に向けて、国際連合や非政府組織などの果たす役割が増大していることを、事例に基づいたテーマを基にして考察することができる。</li> <li>・ 近年の国際的な民族紛争について、紛争発生の背景となる人種・民族対立について理解する。また、イスラム教やキリスト教を中心に取り上げて、文化や宗教の多様性について理解し、互いの文化を尊重する態度を身に付けることが重要であることを理解する。</li> <li>・ 核兵器をめぐる現状をキューバ危機等、歴史の変遷から考察し、世界の核軍縮への取り組みについて理解する。</li> </ul>

学習指導要領	都立六郷工科高校 学カスタンダード
<p>(3) 共に生きる社会を目指して</p> <p>持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を探究する活動を通して、現代社会に対する理解を深めさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的な規模で自由な経済活動が拡大していることを歴史的に世界大戦に至った背景や現在の具体的事例から把握し、国際経済問題の解決には地球規模での連携が必要であることを理解する。</li> <li>・南北問題や南南問題など国際的な経済問題の解決のためには、国際協調が必要であることを認識し、国際機関の役割をひとつひとつ整理したうえで、その重要性について理解する。</li> <li>・持続可能な社会の形成にどのように参画できるのか自らやり方を模索し、「個人と社会の関係」、「社会と社会の関係」、「現役世代と将来世代の関係」のいずれかに着目して現代社会の諸課題について、グループ学習で議論したうえで、人前で表現することができる。</li> </ul>

